URBANO L02

目次

安全上のご注意

ご利用の準備

基本操作

au災害対策アプリ

付録

ごあいさつ

このたびは、「URBANO」(以下、「本製品」もしくは「本体」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前に『取扱説明書』(本書)をお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。『取扱説明書』を紛失されたときは、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

操作説明について

■『設定ガイド』/『取扱説明書』(本書)

主な機能の主な操作のみ説明しています。
さまざまな機能のより詳しい説明については、本体内で利用できる『取扱説明書』アプリケーションやauホームページより『取扱説明書詳細版』をご参照ください。
http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/

- 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

■『取扱説明書』アプリケーション

本製品では、本体内で詳しい操作方法を確認できる『取扱説明書』アプリケーションをご利用できます。
また、機能によっては説明画面からその機能を起動することができます。

ホームスクリーン→[田(シンプル)]→[アプリ一覧]→[取扱説明書]

- 初めてご利用になる場合は、画面の指示に従ってアプリケーションをダウンロードして、インストールする必要があります。

■For Those Requiring an English Instruction Manual 英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual from the au website (available from approximately one month after the product is released).
『取扱説明書(英語版)』をauホームページに掲載しています(発売約1ヶ月後から)。
Download URL:
http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/

安全上のご注意

本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、以下のauホームページのauお客さまサポートで症状をご確認ください。
http://www.au.kddi.com/support/mobile/trouble/repair

本製品をご利用いただくにあたって

- サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル・地下など）では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。（ただし、LTE／CDMA／GSM／UMTS方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております。）
- 本製品は国際ローミングサービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的にKDDI（株）に送信いたします。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- 海外でご利用される場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書』（本書）をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

■ こんな場所では、使用禁止！

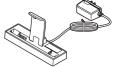
- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- 航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。

本体

背面カバー
（KYY22TSA／KYY22TGA／KYY22TPA）
※本体裏面に装着済

電池パック（KYY21UAA）

急速充電対応卓上ホルダ
（ACアダプター体型）
（KYY22PUA）
※急速充電対応卓上ホルダ（ACアダプター体型）（KYY22PUA）は防水／防塵性能を有しておりません。

- 取扱説明書（本書）
- 設定ガイド
- 本体保証書
- 急速充電対応卓上ホルダ（ACアダプター体型）保証書

以下のものは同梱されていません。

·microSDメモリカード　·microUSBケーブル
·イヤホン

◎本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。

目次

ごあいさつ ii
操作説明について ii
安全上のご注意 ii
本製品をご利用いただくにあたって 1
同梱品一覧 2

目次 3

安全上のご注意 4

本書の表記方法について 4
免責事項について 5
安全上のご注意(必ずお守りください) 5
取り扱い上のお願い 14
防水／防塵性能に関するご注意 22
Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能について 28
パケット通信料についてのご注意 30
アプリケーションについて 30

ご利用の準備 31

各部の名称と機能 31
電池パックを取り付ける／取り外す 34
au Nano IC Card (LTE)を取り付ける／取り外す ... 35
microSDメモリカードを取り付ける／取り外す 37
充電する 39
電源を入れる／切る 42

基本操作 44

ホームスクリーンを利用する 44
ホームアプリケーションを切り替える 44
シンプルメニューを利用する 45
アプリ一覧を利用する 45
本製品の状態を知る 46
メニューを表示する 46

au災害対策アプリ 47

災害用伝言板を利用する 47
緊急速報メールを利用する 47
災害用音声お届けサービスを利用する 49
災害情報／義援金サイトを利用する 49

付録 50

周辺機器のご紹介 50
故障とお考えになる前に 51
ソフトウェアやOSを更新する 52
アフターサービスについて 53
主な仕様 56
携帯電話機の比吸収率(SAR)について 57
知的財産権について 58
OpenSSL License 62
FCC Notice 63
European RF Exposure Information 64
Declaration of Conformity 64

安全上のご注意

本書の表記方法について

■掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を次のように簡略化しています。

■項目/アイコン/キーなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。
タップとは、ディスプレイに表示されているキーやアイコンを指で軽く叩いて選択する動作です。

表記例	意味
ホームスクリーン→[(電話)]→[1][4][1]→[](発信)	ホームスクリーン下部の「(電話)」をタップします。続けて「1」「4」「1」の順にタップして、最後に「」(発信)をタップします。
スリープモード中に⏻	スリープモード中に⏻を押します。

■掲載されているイラスト・画面表示について

本書に記載されているイラスト・画面は、実際の製品・画面とは異なる場合があります。
また、画面の一部などを省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本書の表記では、画面の一部のアイコン類などは、省略されています。

memo

◎本書では縦表示からの操作を基準に説明しています。横表示では、メニューの項目/アイコン/画面上のキーなどが異なる場合があります。
◎本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。
◎本書では本体カラー「グリーン」の表示を例に説明しています。
◎本書では「microSD™メモリカード」および「microSDHC™メモリカード」、「microSDXC™メモリカード」の名称を、「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。
◎本書に表記の金額は、特に記載のある場合を除きすべて税抜です。

免責事項について

◎ 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
◎ 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
◎ 本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
◎ 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
◎ 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
◎ 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

※ 本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
発売元:KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)　製造元:京セラ株式会社

安全上のご注意(必ずお守りください)

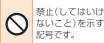
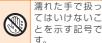
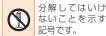
■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

● この「安全上のご注意」には本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。
● 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■表示の説明

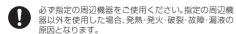
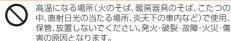
⚠危険	この表示は「人が死亡または重傷(※1)を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠警告	この表示は「人が死亡または重傷(※1)を負うことが想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示は「人が傷害(※2)を負うことが想定される内容や物的損害(※3)の発生が想定される内容」を示しています。

※1 重傷:失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
※2 傷害:治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。
※3 物的損害:家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

■ 図記号の説明

	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。		水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。		必ず実行していただくこと（強制）を示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。		電源プラグをコンセントから抜いていただく（強制）内容を示しています。

■ 本体、電池パック、背面カバー、充電用機器、au Nano IC Card (LTE)、周辺機器共通

⚠危険　必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源をお切りください。また、充電もしないでください。ガスに引火するおそれがあります。また、ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイ®の決済機能をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。（おサイフケータイ®をロックされている場合は、ロックを解除したうえで電源をお切りください。）

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。

接続端子やイヤホンマイク端子をショートさせないでください。また、接続端子やイヤホンマイク端子に導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、内部に入らないようにしてください。火災や故障の原因となります。

金属製のアクセサリーなどをご使用になる場合は、充電の際に接続端子、イヤホンマイク端子、コンセントなどに触れないように十分ご注意ください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。

カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないようにしてください。レンズの集光作用により、発火・破裂・火災の原因となります。

お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。本製品の改造は電波法違反になります。

⚠警告　必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

落下させる、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・故障の原因となります。

屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。

接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

本製品が落下などによって破損し、ディスプレイが割れたり、機器内部が露出した場合、割れたディスプレイや露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをする場合があります。auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。

本製品が濡れている状態で充電を行うと、感電や回路のショート、腐食が発生し、発熱による火災や故障の原因となります。

本製品は防水性能を有する機種ですが、万一、水などの液体が外部接続端子カバー、イヤホンマイク端子、背面カバーなどから本製品などに入った場合には、ご使用をやめてください。そのまま使用すると、発熱・発火・故障の原因となります。

背面カバーを取り外す際、必要以上に力を入れないでください。電池パックが飛び出すなどして、けがや故障の原因となる場合があります。

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩きながらの操作はしないでください。安全性を損ない、事故の原因となります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をおやめください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。

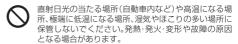
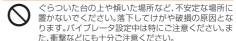
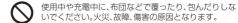
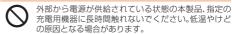
乳幼児の手が届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。

⚠注意　必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

直射日光の当たる場所（自動車内など）や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・発火・変形や故障の原因となる場合があります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。バイブレータ設定中は特にご注意ください。また、衝撃などにも十分ご注意ください。

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災、故障、傷害の原因となります。

外部から電源が供給されている状態の本製品、指定の充電用機器に長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。

本製品を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因となる場合があります。

コンセントや配線器具は定格を超えて使用しないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

背面カバーを外したまま使用しないでください。

腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。

本体から背面カバーを外したまま、放置・保管しないでください。内部にほこりなどの異物が入ると故障の原因となります。

使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなどの異常が起きたときは使用をやめてください。充電中であれば、指定の充電用機器をコンセントまたはソケットから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り、電池パックを外して、auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。また、落下したり、破損した場合なども、そのまま使用せず、auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。

イヤホンなどを本製品に挿入して使用する場合は、適度な音量に調節してください。音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると耳に悪い影響を与えるおそれがあります。また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。

イヤホンなどを本製品に挿入し音量を調節する場合は、少しずつ音量を上げて調節してください。始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳に悪い影響を与えるおそれがあります。

充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。また、正しい方向で抜き差ししてください。破損・故障の原因となります。

■本体について

警告 **必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。**

自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。

航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

高精度な電子機器の近くでは、本製品の電源をお切りください。電子機器に影響を与える場合があります。(影響を与えるおそれがある機器の例:心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知機・自動ドアなど。医用電気機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。)

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

1. 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、本製品を植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器の装着部位から15cm以上離して携行および使用してください。
2. 身動きが自由に取れない状況など、15cm以上の離隔距離が確保できないおそれがある場合、付近に植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切ってください。
3. 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。
   - 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には本製品を持ち込まないでください。
   - 病棟内では、本製品の電源をお切りください。
   - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は本製品の電源をお切りください。
   - 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
4. 医療機関の外で、植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合(自宅療養など)は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。

通話・メール・インターネット・撮影・ゲームなどをするときや、TV(ワンセグ)を視聴したり、音楽を聴くときなどは周囲の安全を確認してください。転倒・交通事故の原因となります。

赤外線ポートを目に向けて赤外線送信しないでください。目に影響を与える可能性があります。また、その他赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

撮影ライト／簡易ライトをご使用になる場合は、人の目の前で発光させないでください。また、撮影ライト／簡易ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。視力低下などの障がいを引き起こす原因となります。特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転者に向けて撮影ライト／簡易ライトを点灯させないでください。目がくらんで運転不能になり、事故を起こす原因となります。

ごくまれに、点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある人は、事前に医師とご相談ください。

本製品のディスプレイ部には強化ガラスを使用していますが、万一、破損してしまった場合は破損部に触れないでください。破損部でけがをすることがあります。auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。

⚠注意　必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。本製品で使用している各部品の材質は以下の通りです。

使用場所	使用材料	表面処理
外装ケース（ディスプレイ側）	PA樹脂	アクリル系UV硬化塗装
外装ケース（側面・底面周囲）、背面カバー、◄ ►キー、BACK／HOME／MENUキー周囲部、外部接続端子カバー、アンテナ先端	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装
ディスプレイ	化学強化ガラス	防汚処理
⏻キー、BACK／HOME／MENUキー	アルミニウム	アルマイト処理
カメラレンズ	PMMA樹脂	ハードコート処理
アンテナシャフト	SUS	－
充電端子	銅合金	金メッキ処理（下地Niメッキ）
イヤホンマイク端子	PA樹脂	－

キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなどの磁気を帯びたものを近づけたりしないでください。記録内容が消失される場合があります。

イヤホンマイク端子、外部接続端子、microSDメモリカードスロット、au Nano IC Card (LTE)挿入口に液体、金属体、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・故障の原因となります。

イヤホン（別売）やストラップなどを持って、本製品を振りまわさないでください。けがなどの事故や破損の原因となります。

通常は外部接続端子カバーなどを閉めた状態で使用してください。カバーを閉めずに使用すると、ほこり・水などが入り故障の原因となります。

TV（ワンセグ）視聴時以外ではTVアンテナを収納してください。TVアンテナを引き出したままで通話などをすると顔などにあたり思わぬけがの原因となります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

砂浜などの上に直に置かないでください。送話口（マイク）、スピーカーなどに砂などが入り音が小さくなったり、本製品内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

通話・通信中などの使用中は、本製品が熱くなることがありますので、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。火災・やけど・故障の原因となる場合があります。

■電池パックについて

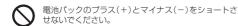
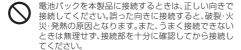
Li-ion 00

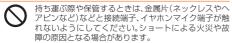
（本製品の電池パックは、リチウムイオン電池です。）

電池パックはお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。

⚠危険　必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

電池パックのプラス（＋）とマイナス（−）をショートさせないでください。

電池パックを本製品に接続するときは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると、破裂・火災・発熱の原因となります。また、うまく接続できないときは無理せず、接続部を十分に確認してから接続してください。

釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。発火や破損の原因となります。

持ち運ぶ際や保管するときは、金属片（ネックレスやヘアピンなど）などと接続端子、イヤホンマイク端子が触れないようにしてください。ショートによる火災や故障の原因となる場合があります。

分解・改造をしたり、直接ハンダ付けをしたりしないでください。電池内部の液が飛び出し、目に入ったりして失明などの事故や発熱・発火・破裂の原因となります。

落としたり、踏み付けたり、破損や液漏れした電池パックを使用しないでください。液漏れや異臭がするときは直ちに火気から遠ざけてください。漏れた液に引火し、発火・破裂の原因となります。

電池パックを水や海水・ペットの尿などで濡らさないでください。電池パックが濡れると発熱・破裂・発火の原因となります。誤って水などに落としたときは、直ちに電源を切り、電池パックを外して、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。また、濡れた電池パックは充電をしないでください。

液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、傷害を起こすおそれがありますので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがありますのでこすらずに水で洗った後、直ちに医師の診断を受けてください。機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

電池パックは消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめになり、指定の新しい電池パックをお買い求めください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。なお、寿命は使用状態などによって異なります。

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。電池パックの漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。

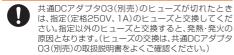
■充電用機器について

警告 **必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。**

指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。

- 急速充電対応卓上ホルダ（ACアダプター体型）（KYY22PUA）：AC100V～240V
- 海外で充電可能なACアダプタ（別売）：AC100V～240V
- 共通DCアダプタ03（別売）：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

指定の充電用機器の電源プラグはコンセントまたはシガーライタソケットに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電や発熱・発火による火災の原因となります。指定の充電用機器が傷んでいるときや、コンセントまたはシガーライタソケットの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

共通DCアダプタ03（別売）のヒューズが切れたときは、指定（定格250V、1A）のヒューズと交換してください。指定以外のヒューズと交換すると、発熱・発火の原因となります。（ヒューズの交換は、共通DCアダプタ03（別売）の取扱説明書をよくご確認ください。）

指定の充電用機器のケーブルを傷付けたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだケーブルは使用しないでください。感電・ショート・火災の原因となります。

接続端子、イヤホンマイク端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

雷が鳴り出したら電源プラグに触れないようにしてください。落雷による感電などの原因となります。

お手入れをするときは、指定の充電用機器の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電や回路のショートの原因となります。

電源プラグに付いたほこりは、拭き取ってください。火災、やけど、感電の原因となります。

車載機器などは、運転操作やエアーバッグなどの安全装置の妨げにならない位置に設置・配置してください。交通事故の原因となります。車載機器の取扱説明書に従って設置してください。

長時間使用しない場合は指定の充電用機器の電源プラグをコンセントから抜いておいてください。感電・火災・故障の原因となります。

水やペットの尿など液体が直接かからない場所でご使用ください。発熱・火災・感電・電子回路のショートによる故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちに指定の充電用機器の電源プラグを抜いてください。

⚠注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

風呂場などの湿気の多い場所で使用したり、濡れた手で指定の充電用機器を抜き差ししないでください。感電や故障の原因となります。

充電は安定した場所で行ってください。傾いたところやぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。特にバイブレータ設定中はご注意ください。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。火災・故障の原因となります。

指定の充電用機器の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。

共通DCアダプタ03(別売)は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。車のバッテリー消耗の原因となります。

本体から電池パックを外した状態で指定の充電用機器を差したまま放置しないでください。発火・感電の原因となります。

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。急速充電対応卓上ホルダ(ACアダプター体型)(KYY22PUA)で使用している各部品の材質は以下の通りです。

■ 急速充電対応卓上ホルダ(ACアダプター体型)(KYY22PUA)

使用場所	使用材料	表面処理
外装ケース(卓上ホルダ上下部)	ABS樹脂	－
外装ケース(卓上ホルダ側面部)	ABS樹脂	アクリル系塗装
レバー、ノブ	POM樹脂	－
充電端子	真鍮	金メッキ処理(下地Niメッキ)
スタンド	PC樹脂	－
コード	－	TPE
外装ケース(ACアダプタ部)	銅、亜鉛、ニッケル	PC樹脂

■au Nano IC Card (LTE)について

⚠警告 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にau Nano IC Card (LTE)を入れないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

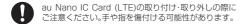
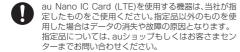
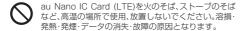
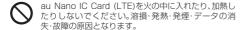
⚠注意　必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

au Nano IC Card (LTE)の取り付け・取り外しの際にご注意ください。手や指を傷付ける可能性があります。

au Nano IC Card (LTE)を使用する機器は、当社が指定したものをご使用ください。指定品以外のものを使用した場合はデータの消失や故障の原因となります。指定品については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

au Nano IC Card (LTE)を分解、改造しないでください。データの消失・故障の原因となります。

au Nano IC Card (LTE)を火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

au Nano IC Card (LTE)を火の中に入れたり、加熱したりしないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

au Nano IC Card (LTE)のIC(金属)部分を不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失・故障の原因となります。

au Nano IC Card (LTE)を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。

au Nano IC Card (LTE)を折ったり、曲げたり、重い物を載せたりしないでください。故障の原因となります。

au Nano IC Card (LTE)を濡らさないでください。故障の原因となります。

au Nano IC Card (LTE)のIC(金属)部分を傷付けないでください。故障の原因となります。

au Nano IC Card (LTE)はほこりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。

au Nano IC Card (LTE)保管の際には、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。故障の原因となります。

au Nano IC Card (LTE)は、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込むと、窒息や傷害などの原因となります。

取り扱い上のお願い

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体、電池パック、背面カバー、充電用機器、au Nano IC Card (LTE)、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
また、外部機器を外部接続端子やイヤホンマイク端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。

- 本製品の防水性能(IPX5、IPX8相当)を発揮するために、指定の背面カバーを使用し、外部接続端子カバーをしっかりと取り付けた状態でご使用ください。
  ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本製品内部に水を浸入させたり、電池パックや充電用機器、オプション品に水をかけたりしないでください。雨の中や水滴が付いたままでの背面カバーの取り付け/取り外し、外部接続端子カバーの開閉は行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。
  調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃~35℃、湿度35%~85%の範囲内でご使用ください。)
  - 充電用機器
  - 周辺機器
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃~35℃、湿度35%~90%の範囲内でご使用ください。ただし、36℃~40℃であれば一時的な使用は可能です。)
  - 本製品本体
  - 電池パック・au Nano IC Card (LTE)(本製品本体装着状態)
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 接続端子、イヤホンマイク端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて接続端子、イヤホンマイク端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷が付く場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、外装の印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになってる近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書』(本書)をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- 電池パックは電源を切ってから取り外してください。電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されたデータが変化・消失するおそれがあります。
- 本製品には、シールなどを貼り付けないでください。音が出なくなる場合や相手に音声が届かなくなることがあります。

■ 本体について

- 強く押す、叩くなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。

- キーやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因となります。
  タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
  以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  ・手袋をしたままでの操作
  ・爪の先での操作
  ・異物を操作面に乗せたままでの操作
  ・保護シートやシールなどを貼っての操作
  ・ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
  ・濡れた指または汗で湿った指での操作
  ・水中での操作
- 本製品はアンテナ部に印刷タイプのアンテナを用いています。爪や鋭利な物で引っかくとパターンは切断されて性能が出せなくなります。
- NFC（FeliCa対応）アンテナを剥がしてしまうと接点部も剥離して使用できなくなります。NFC（FeliCa対応）アンテナを剥がさないでください。また、爪や鋭利な物で引っかくとパターンは切断されて性能が出せなくなりますので、やめてください。
- 電池パックを外したところに貼ってあるIMEIの印刷されたシールは、お客様が使用されている本製品および通信モジュールが電波法および電気通信事業法に適合したものであることを証明するものですので、剥がさないでください。
- 改造されたau電話は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。
  本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク㊣」が本製品本体の銘板シールに表示されております。
  本製品本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 本製品は不正改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。
- 本製品に登録された連絡先・メール・お気に入りなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されたコンテンツデータ（有料・無料を問わない）などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- 撮影などした写真/動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- イヤホンマイク端子は防水用イヤホンマイク端子を使用していますが水がたまった状態でプラグを挿入されると使用できない場合があります。イヤホンマイク端子に水が残らないように、振って水を出し、乾燥させてから使用してください。
- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります(結露といいます)。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- 外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部機器を接続するときは、接続端子に対して外部機器のコネクタやプラグがまっすぐになるように抜き差ししてください。
- 外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収を行っております。
- 本製品のmicroSDメモリカードスロットには、microSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。
- microSDメモリカードの取り付け・取り外しの際に、必要以上の力を入れないでください。手や指を傷付ける場合があります。
- microSDメモリカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電池パックを取り外したり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 通話中、送話口(マイク)を指などで覆わないようにご注意ください。相手にこちらの声が聞こえにくくなります。
- ハンズフリー通話をご使用の際はスピーカーから大きな音が出る場合があります。耳から十分に離すなど、注意してご使用ください。

- センサーを指でふさいだり、センサーの上にシールなどを貼ると、周囲の状況にセンサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 近接センサーの上にシールなどを貼ると、センサーが誤動作し着信中や通話中にディスプレイの表示が常に消え、操作が行えなくなる場合がありますのでご注意ください。

■ タッチパネルについて

- タッチ操作は指で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイへの傷の発生や、破損の原因となる場合があります。
- ディスプレイにシールやシート類（市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど）を貼らないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- 爪先でタッチ操作をしないでください。爪が割れたり、突き指などけがの原因となる場合があります。
- ディスプレイ表面が汚れていたり、汗や水で濡れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。
- ポケットやかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

■ 電池パックについて

- 夏期、閉めきった（自動車）車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では電池パックの容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、電池パックの寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 長時間使用しない場合は、本体から背面カバーを外して電池パックを外し、高温多湿を避けて保管してください。
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。
- 電池パックは消耗品です。充電しても機能が回復しない場合は寿命ですので、指定の電池パックをご購入ください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった電池パックの回収にご協力ください。auショップなどで使用済み電池パックの回収を行っております。
- 電池パックは、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■ 充電用機器について

- ご使用にならないときは、指定の充電用機器の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから外してください。
- 指定の充電用機器の電源コードをアダプタ本体に巻きつけないでください。感電、発熱、火災の原因となります。
- 充電用機器のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電、発熱、火災の原因となります。

■ au Nano IC Card (LTE)について

- au Nano IC Card (LTE)は、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますのでご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。
- au Nano IC Card (LTE)の取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどに、au Nano IC Card (LTE)を挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au Nano IC Card (LTE)のIC(金属)部分はいつもきれいな状態でご使用ください。お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)などで拭いてください。
- au Nano IC Card (LTE)にシールなどを貼らないでください。

■ カメラ機能について

- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。
- 本製品の故障・修理・その他の取り扱いによって、撮影した画像データが変化または消失することがあり、この場合、当社は変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失によって生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。
- 大切な撮影(結婚式など)をするときは、試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 販売されている書籍や、撮影の許可されていない情報の記録には使用しないでください。
- カメラのレンズに直射日光が当たる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。

■ 音楽／動画／TV(ワンセグ)機能について

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画およびTV(ワンセグ)を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています(自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります)。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与える場合がありますのでご注意ください。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れにご注意ください。

■ 著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどのほかは、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。
  また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
  なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影した静止画などをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。
  ※控え作成の手段:連絡先のデータや音楽データ、撮影した静止画や動画など、重要なデータはmicroSDメモリカードに保存しておいてください。またはメールに添付して送信したり、パソコンに転送しておいてください。ただし、上記の手段でも控えが作成できないデータがあります。あらかじめ、ご了承ください。

ご利用いただく各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。
ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

● 暗証番号

使用例	①お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合
	②お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

● 画面ロックの設定

使用例	画面ロックの設定／解除をする場合
初期値	タッチ

● PINコード

使用例	第三者によるau Nano IC Card (LTE)の無断使用を防ぐ場合
初期値	1234

● ロックNo.(「NFC／おサイフケータイ ロック」)

使用例	「NFC／おサイフケータイ ロック」を利用する場合
初期値	1234

PINコードについて

■PINコード

第三者によるau Nano IC Card (LTE)の無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。
PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力要否は入力が不要な設定になっていますが、お客様の必要に応じてPINコードは4～8桁のお好きな番号、入力要否は入力が必要な設定に変更できます。

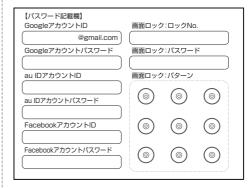
■PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au Nano IC Card (LTE)が取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ･PiPitもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- PINコードは「データの初期化」を行ってもリセットされません。

＜この部分をコピーしてご使用ください＞

【パスワード記載欄】
GoogleアカウントID
@gmail.com
Googleアカウントパスワード
au IDアカウントID
au IDアカウントパスワード
FacebookアカウントID
Facebookアカウントパスワード
画面ロック：ロックNo.
画面ロック：パスワード
画面ロック：パターン

安全上のご注意

防水／防塵性能に関するご注意

本製品は外部接続端子カバー、指定の背面カバーが完全に装着された状態でIPX5※1相当、IPX8※2相当の防水性能およびIP5X※3相当の防塵性能を有しております(当社試験方法による)。
具体的には、雨(1時間の雨量が20mm未満)の中、傘をささずに濡れた手で持って通話したり、お風呂やキッチンなど水がある場所でもお使いいただけます。
正しくお使いいただくために、「ご使用にあたっての重要事項」「快適にお使いいただくために」の内容をよくお読みになってからご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障のおそれがあります。

※1 IPX5相当とは、内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル／分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことです。
※2 IPX8相当とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの水槽に静かに本製品を沈めた状態で約30分間、水底に放置しても本製品内部に浸水せず、電話機としての性能を保つことです。
※3 IP5X相当とは、直径75μm以下の塵埃(じんあい)が入った装置に電話機を8時間入れて攪拌(かくはん)させ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全に維持することを意味します。

利用シーンは、上記条件で確認しており、実際の使用時、すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

ご使用にあたっての重要事項

- 外部接続端子カバーをしっかり閉じ、指定の背面カバーは完全に装着した状態にしてください。
  - 完全に閉まっていることで防水性能が発揮されます。
  - 接触面に微細なゴミ(髪の毛1本、砂粒1個など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。

  - 手や本製品が濡れている状態での外部接続端子カバー、指定の背面カバーの開閉は絶対にしないでください。また、イヤホンマイク端子に水が入った状態で、イヤホン(別売)を差し込まないでください。

外部接続端子カバーの閉じかた

カバーのヒンジを収納してから①カバー全体を指の腹で押し込んでください。②矢印の方向になぞり、カバーが浮いていることのないように確実に閉じてください。

安全上のご注意

指定の背面カバーの取り付けかた

指定の背面カバーを本体に合わせて装着してから、背面カバー全体に浮きがないように注意しながら①から②の方向へ矢印に沿ってなぞり、③をしっかりと押して取り付けてください。

● 石けん、洗剤、入浴剤の入った水には浸けないでください。
● 海水、プール、温泉の中に浸けないでください。
● 水以外の液体（アルコールなど）に浸けないでください。
● 砂浜などの上に直に置かないでください。送話口（マイク）、スピーカーなどに砂などが入り音が小さくなったり、本製品内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。
● 水中で使用しないでください。
● お風呂、台所など、湿気の多い場所には長時間放置しないでください。

石けん・洗剤・入浴剤

海水

プール

温泉

砂・泥

快適にお使いいただくために

● 水濡れ後は本製品の隙間に水がたまっている場合があります。よく振って水を抜いてください。特に指定の背面カバー、キー部、充電端子部、イヤホンマイク端子部の水を抜いてください。
● 水抜き後も、水分が残っている場合があります。ご使用にはさしつかえありませんが、濡れては困るもののそばには置かないでください。また、服やかばんの中などを濡らすおそれがありますのでご注意ください。
● 送話口（マイク）に水がたまり、一時的に音が聞こえにくくなった場合は水抜きを行ってください。

■利用シーン別注意事項

＜雨の中＞

雨の中、傘をささずに濡れた手で持って通話できます。

- 雨とは、「やや強い雨」の場合（1時間の雨量が20mm未満まで）を指します。
- ディスプレイに水滴が付着していると、タッチパネルが誤動作する場合があります。
- 雨がかかっている最中、または手が濡れている状態での外部接続端子カバー、指定の背面カバーの開閉は絶対にしないでください。

＜シャワー＞

シャワーを浴びた濡れた手で持って通話できます。

- 耐水圧設計ではないので高い水圧が直接かかるようなご使用はしないでください。

＜洗う＞

やや弱めの水流（6リットル／分以下）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温（5℃～35℃）の水道水で洗えます。

- 耐水圧設計ではないので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- 洗うときは指定の背面カバーをしっかり閉じた状態で、外部接続端子カバーが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- 石けん、洗剤などの水道水以外のものをかけたり浸けたりしないでください。

<お風呂>

お風呂で使用できます。

- 濡れた手で通話できますが、湯船には浸けないでください。耐熱設計ではありません。
- お風呂場での長時間のご使用はおやめください。防湿仕様ではありません。
- 温泉や石けん、洗剤、入浴剤の入った水には浸けないでください。また、水中で使用しないでください。故障の原因となります。
- 急激な温度変化は、結露の原因となります。寒い場所から暖かいお風呂場などに本製品を持ち込むときは、本製品が常温になってから持ち込んでください。
- ディスプレイの内側に結露が発生した場合、結露が取れるまで常温で放置してください。
- TV(ワンセグ)を見るときは安定した場所に置いてご使用ください。
- 高温のお湯をかけないでください。耐熱設計ではありません。
- 急速充電対応卓上ホルダ(ACアダプター体型)(KYY22PUA)をお風呂場へ持ち込まないでください。

<プールサイド>

- プールの水に浸けたり、落下させたりしないでください。また、水中で使用しないでください。
- プールの水には消毒用塩素が含まれているため、プールの水がかかった場合には速やかに常温の水道水※で洗い流してください。洗う際にブラシなどは使用しないでください。
  ※やや弱めの流水(6リットル／分以下)

<キッチン>

キッチンなど水を使う場所でも使用できます。

- 石けん、洗剤、調味料、ジュースなど水道水以外のものをかけたり浸けたりしないでください。
- 熱湯に浸けたり、かけたりしないでください。耐熱設計ではありません。
- コンロのそばや冷蔵庫の中など、極端に高温・低温になる場所に置かないでください。
- TV(ワンセグ)を見るときは安定した場所に置いてご使用ください。

■共通注意事項

外部接続端子カバー、指定の背面カバーについて

外部接続端子カバーはしっかりと閉じ、指定の背面カバーは完全に装着した状態にしてください。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本、砂粒1個など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。

外部接続端子カバーを開閉したり、指定の背面カバーを取り外し、取り付ける際は手袋などをしたまま操作しないでください。接触面は微細なゴミ(髪の毛1本、砂粒1個など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。カバーを閉じる際、わずかでも水滴・汚れなどが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取ってください。

外部接続端子カバー、指定の背面カバーに劣化·破損があるときは、防水性能を維持できません。これらのときは、お近くのauショップまでご連絡ください。

水以外が付着した場合

万一、水以外(海水·洗剤·アルコールなど)が付着してしまった場合、すぐに水で洗い流してください。

やや弱めの水流(6リットル/分以下)で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温(5℃~35℃)の水道水で洗えます。

汚れた場合、ブラシなどは使用せず、指定の背面カバー、外部接続端子カバーが開かないように押さえながら手で洗ってください。

水に濡れた後は

水濡れ後は水抜きをし、指定の背面カバーを外さないで、本体、指定の背面カバーとも乾いた清潔な布で水を拭き取ってください。

寒冷地では本製品に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因となります。水滴が付着したまま放置しないでください。(本製品は、結露に関しては特別な対策を実施しておりません。)

ゴムパッキンについて

外部接続端子カバー周囲のゴムパッキン、指定の背面カバーを開けたときのゴムパッキンは、防水性能を維持するため大切な役割をしています。傷付けたり、剥がしたりしないでください。

外部接続端子カバー、指定の背面カバーを閉める際はゴムパッキンを噛み込まないようご注意ください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷付き、防水性能が維持できなくなる場合があります。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本、砂粒1個など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。

水以外の液体(アルコールなど)が付着した場合は耐久性能を維持できなくなる場合があります。

外部接続端子カバー、指定の背面カバーの隙間に、先のとがったものを差し込まないでください。本製品が破損·変形したり、ゴムパッキンが傷付くおそれがあり、浸水の原因となります。

防水性能を維持するための部品は、異常の有無にかかわらず2年ごとに交換することをおすすめします。部品の交換については、お近くのauショップまでご連絡ください。

充電について

本製品が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。

付属品、オプション品は防水性能を有しておりません。

防水性能について

耐水圧設計ではありませんので、高い水圧がかかる場所(蛇口·シャワーなど)でのご使用や、水中に長時間沈めることはおやめください。また、規定以上の強い水流(6リットル/分以上の水流:例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流)を直接当てないでください。本製品はIPX5相当の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。

本製品は水に浮きません。

耐熱性について

熱湯·サウナ·熱風(ドライヤーなど)は使用しないでください。本製品は耐熱設計ではありません。

衝撃について

本製品は耐衝撃性能を有しておりません。落下させたり、衝撃を与えないでください。また、送話口(マイク)、スピーカーなどを綿棒やとがったものでつつかないでください。本製品が破損·変形するおそれがあり、浸水の原因となります。

■水に濡れたときの水抜きについて

本製品を水に濡らした場合、非耐水エリアがありますので、そのまま使用すると衣服やかばんなどを濡らす場合や音が聞こえにくくなる場合があります。
下記手順で水抜きを行ってください。

1 本製品表面の水分を繊維くずの出ない乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。

2 振りかたについて

① 本製品をしっかり持ち、水が出なくなるまで本製品を矢印方向に振ります。
　※ 振る際は周りに危険がないことを確認してください。
　※ 本製品が飛び出さないように、しっかりと持ち水抜きをしてください。

イヤホンマイク端子部側：各20回以上
スピーカー側･送話口（マイク）側：各20回以上

② 出てきた水分を拭き取ります。
　※ 送話口（マイク）、スピーカー、充電端子部、イヤホンマイク端子部は特に水が抜けにくいため、押し付けるように各部分を下側にして拭き取ってください。

③ 乾いたタオルや布の上に置き、常温でしばらく放置します。

3 繊維くずの出ない乾いた清潔な布などに本製品を軽く押し当て、送話口（マイク）･スピーカー･外部接続端子部･イヤホンマイク端子部などの隙間に入った水分を拭き取ってください。

4 本製品から出た水分を十分に取り除いてから常温で1時間以上放置して乾燥させてください。

上記手順を行った後でも、本製品に水分が残っている場合があります。濡れて困るもののそばには置かないでください。
また、衣服やかばんなどを濡らしてしまうおそれがありますのでご注意ください。

■充電のときは

付属品、オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。充電時、および充電後には次の点をご確認ください。

- 本製品が濡れている状態では絶対に充電しないでください。感電や電子回路のショートなどによる火災・故障の原因となります。
- 本製品が濡れていないかご確認ください。水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、急速充電対応卓上ホルダ（ACアダプター体型）（KYY22PUA）に差し込んだり、外部接続端子カバーを開いたりしてください。
- 外部接続端子カバーを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとカバーを閉じてください。外部接続端子カバーからの浸水を防ぐため、急速充電対応卓上ホルダ（ACアダプター体型）（KYY22PUA）を使用して充電することをおすすめします。
- 濡れた手で指定の充電用機器に触れないでください。感電の原因となります。
- 指定の充電用機器は、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水まわりでは使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災・感電の原因となります。

Bluetooth®／無線LAN（Wi-Fi®）機能について

- 本製品のBluetooth®機能は日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- 本製品の無線LAN（Wi-Fi®）機能は日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- 無線LAN（Wi-Fi®）やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LAN（Wi-Fi®）アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 航空機内での使用はできません。無線LAN（Wi-Fi®）対応の航空機内であっても、必ず電源をお切りください。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能／無線LAN（Wi-Fi®）機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

- 本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）対応機器との動作を保証するものではありません。
- 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）によるデータ通信を行う際はご注意ください。

・無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
・Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
・Bluetooth®と無線LAN(Wi-Fi®)は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LAN(Wi-Fi®)のいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。

- **Bluetooth®機能:2.4FH1/XX1**

2.4FH1/XX1

本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式等を採用し、与干渉距離は約10m以下です。移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

- **無線LAN(Wi-Fi®)機能:2.4DS4/OF4**

2.4DS4/OF4

本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。
全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは、国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

5GHz帯ご使用上の注意

本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は5GHz帯を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯の屋外利用は禁止されております。
本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。
W52(5.2GHz帯/36, 38, 40, 44, 46, 48ch)
W53(5.3GHz帯/52, 54, 56, 60, 62, 64ch)
W56(5.6GHz帯 /100, 102, 104, 108, 110, 112, 116, 118, 120, 124, 126, 128, 132, 134, 136, 140ch)

IEEE802.11b/g/n			
IEEE802.11a/n			
J52	W52	W53	W56

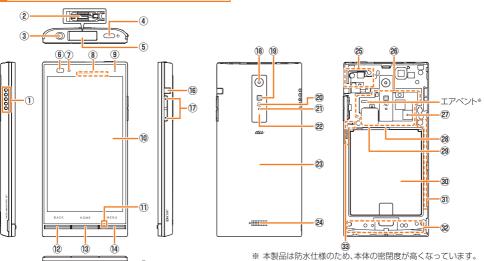
パケット通信料についてのご注意

◎本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にパケット通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
◎本製品でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、パケット通信は有料となります。
※無線LAN（Wi-Fi®）接続の場合はパケット通信料はかかりません。

アプリケーションについて

◎アプリケーションのインストールは安全であることをご確認の上、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
◎万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
◎お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、お客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
◎アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしないとご利用できない場合があります。
◎アプリケーションの中には動作中スリープモードにならなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
◎本製品に搭載されているアプリケーションやインストールされているアプリケーションはアプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

ご利用の準備

各部の名称と機能

※ 本製品は防水仕様のため、本体の密閉度が高くなっています。
そのため、エアベント（空気抜き用の穴）を設けています。
- エアベントは防水性能に影響を与えません。
- シールなどでエアベントをふさがないでください。

① **充電端子**
急速充電対応卓上ホルダ(ACアダプター体型)(KYY22PUA)を使用して充電するときの端子です。
② **外部接続端子**
共通ACアダプタ04(別売)やmicroUSBケーブル01(別売)などの接続時に使用します。
③ **イヤホンマイク端子**
④ **電源キー**
電源ON/OFFやスリープモードの移行/解除などに使用します。
⑤ **外部接続端子カバー**
⑥ **近接センサー/光センサー**
近接センサーは通話中にタッチパネルの誤動作を防ぎます。
光センサーは周囲の明るさを検知して、ディスプレイの明るさを調整します。
⑦ **インカメラ(レンズ部)**
⑧ **受話部(レシーバー)**
「スマートソニックレシーバー®」(▶P.33)で通話中の相手の方の声、伝言メモの再生音などが聞こえます。
⑨ **着信(充電)ランプ**
充電中は赤色で点灯します。
着信時、メール受信時には設定内容に従って点滅します。
⑩ **ディスプレイ**
⑪ **送話口(マイク)**
通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。また、音声を録音するときにも使用します。通話中や動画の録画中は、マイクを指などで覆わないようにご注意ください。
⑫ BACK **戻るキー**
1つ前の画面に戻ります。
⑬ HOME **ホームキー**
ホームスクリーンの表示やスリープモードの解除に使用します。
⑭ MENU **メニューキー**
メニューを表示します。
⑮ **ストラップ取付口**
⑯ **TVアンテナ**
TV(ワンセグ)を視聴するときに伸ばして使用します。通話時やブラウザご利用時などに伸ばしても、通話やデータ通信に影響はありません。
⑰ **音量下/上キー**
音量を調節します。(音量下キー)を長く押すと「マナーモード」を設定できます。スリープモード中に(音量上キー)を長く押すと、「すぐごえ」を起動できます。
⑱ **アウトカメラ(レンズ部)**
⑲ **撮影ライト/簡易ライト**
⑳ **マーク**
おサイフケータイ®利用時にこのマークをリーダー/ライターにかざしてください。IC通信で、データの送受信を行います。
㉑ **ノイズキャンセル用マイク**
ノイズキャンセル時に周囲の音を感知します。通話中に指などでふさがないでください。
㉒ **赤外線ポート**
赤外線通信で、データの送受信を行います。
㉓ **背面カバー**

㉔ **スピーカー**
着信音やアラーム音などが聞こえます。
㉕ **GPS／Bluetooth®／Wi-Fi®アンテナ部**※1
㉖ **NFC(FeliCa対応)アンテナ部**※1
㉗ **気圧センサー**※2
気圧を計測するときに使用します。
㉘ **au Nano IC Card (LTE)挿入口**
㉙ **microSDメモリカードスロット**
㉚ **電池パック**
㉛ **内蔵サブアンテナ部**※1
㉜ **内蔵メインアンテナ部**※1
㉝ **内蔵Wi-Fi®アンテナ部**※1

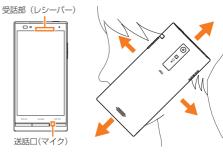
※1 アンテナ部付近を手で覆ったり、シールなどを貼ったりしないでください。通話／通信品質に影響を及ぼす場合があります。アンテナ部を爪や鋭利な物で引っかくとパターンは切断されて性能が出せなくなります。また、NFC(FeliCa対応)アンテナを剥がしてしまうと接点部も剥離して使用できなくなります。

※2 気圧表示に関するアプリケーションをダウンロードすると、気圧を表示させることができますが、この気圧の値は絶対的なものではありません。さまざまな変動要因があり、あくまで目安の値となります。

スマートソニックレシーバーについて

本製品は、ディスプレイ部を振動させて音を伝えるスマートソニックレシーバーを搭載しています。受話部(レシーバー)に穴はありませんが、通常通りご使用いただけます。

■耳への当てかた

下図のように、本製品の受話部(レシーバー)付近を耳に当て、耳を覆うことで周囲の騒音を遮へいし、音声がより聞き取りやすくなります。ご自身の聞こえかたや周囲の環境に合わせて本製品の位置を上下左右に動かし、調整してください。

memo

◎通話時に本製品の送話口(マイク)を指などでふさがないようにご注意ください。
◎イヤホン(別売)を接続している場合は、スマートソニックレシーバーを利用した音声ではなく、イヤホンからの音声に切り替わります。
◎ディスプレイにシールやシート類などを貼らないでください。受話音が聞き取りにくくなる場合があります。
◎聞き取りやすさには個人差があります。
◎周囲の環境により、聞き取りやすさの効果は異なります。

電池パックを取り付ける／取り外す

電池パックは、本製品専用のものを使用して正しく取り付けてください。

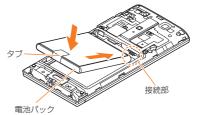
- 電池パックと背面カバーの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。

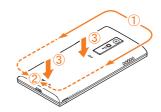
電池パックを取り付ける

1 本体裏面の背面カバーを取り外す

背面カバーの凹部に指先（爪など）をかけて、矢印の方向に持ち上げて取り外します。

2 接続部の位置を確かめて、電池パックをスライドさせて確実に押し込む

タブが上に出ていることを確認してください。

3 背面カバーを本体に合わせて装着してから、背面カバー全体に浮きがないように注意しながら①から②の方向へ矢印に沿ってなぞり、③をしっかりと押す

ご利用の準備

memo

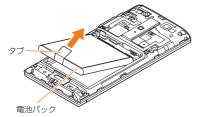
◎ au Nano IC Card (LTE)が確実に装着されていることを確認してから電池パックを取り付けてください。
◎ 取り付け時に間違った取り付けかたをすると、電池パックおよび背面カバー破損の原因となります。
◎ 背面カバーを取り付けるときは、電池パックのタブを挟み込まないようご注意ください。浸水の原因となります。

電池パックを取り外す

1 本体裏面の背面カバーを取り外す（▶P.34）

2 電池パックのタブを上に引き、取り外す

3 背面カバーを取り付ける（▶P.34）

memo

◎ 電池パックを取り外すときは、タブを上に引くようにしてください。タブ以外の方向から持ち上げようとすると、本体または電池の接続部を破損するおそれがあります。

au Nano IC Card (LTE)を取り付ける／取り外す

au Nano IC Card (LTE)の取り付け／取り外しは、電源を切り、電池パックを取り外してから行います。

au Nano IC Card (LTE)

IC(金属)部分

memo

◎ au Nano IC Card (LTE)を取り扱うときは、カードやトレイ、本製品の故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
- au Nano IC Card (LTE)のIC(金属)部分や、本製品のICカード用端子には触れないでください。
- 正しい挿入方向をご確認ください。
- 無理な取り付け／取り外しはしないでください。

◎ au Nano IC Card (LTE)着脱時は、必ず指定のACアダプタなどの電源プラグを本製品から抜いてください。
◎ au Nano IC Card (LTE)を正しく取り付けていない場合やau Nano IC Card (LTE)に異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。

◎取り外したau Nano IC Card (LTE)はなくさないようにご注意ください。

au Nano IC Card (LTE)を取り付ける

1 本製品の電源を切り、電池パックを取り外す

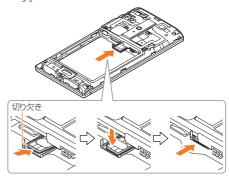
(▶P.35「電池パックを取り外す」)

2 ツメに指をかけトレイをまっすぐに矢印位置まで引き出す

トレイをラベル記載の枠線より引き出さないようご注意ください。引き出してしまった場合は、枠線に合わせてまっすぐに挿入してください。

3 トレイの上にIC面を上にしてau Nano IC Card (LTE)をのせ、トレイとau Nano IC Card (LTE)を奥まで押し込む

切り欠きの方向にご注意ください。

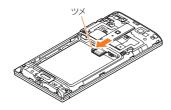
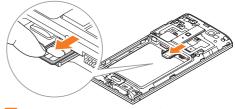
トレイを奥まで押し込んだ際の正しい位置は、au Nano IC Card (LTE)の端が少し見える程度の位置です。

4 電池パック・背面カバーを取り付ける(▶P.34)

au Nano IC Card (LTE)を取り外す

1 本製品の電源を切り、電池パックを取り外す

（▶P.35「電池パックを取り外す」）

2 ツメに指をかけトレイをまっすぐに矢印位置まで引き出す

トレイをラベル記載の枠線より引き出さないようご注意ください。引き出してしまった場合は、枠線に合わせてまっすぐに挿入してください。

3 au Nano IC Card (LTE)をスライドさせるようにして取り外す

4 電池パック・背面カバーを取り付ける（▶P.34）

microSDメモリカードを取り付ける／取り外す

microSDメモリカードを取り付ける

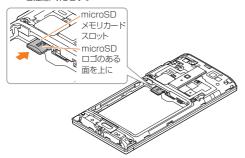
1 本製品の電源を切り、電池パックを取り外す

（▶P.35「電池パックを取り外す」）

2 microSDメモリカードの挿入方向を確認し、カチッと音がするまでまっすぐにゆっくり差し込む

挿入時はカチッと音がしてロックされていることをご確認ください。また、ロックされる前に指を離すとmicroSDメモリカードが飛び出す可能性があります。ご注意ください。

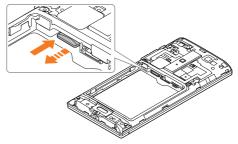
3 電池パック・背面カバーを取り付ける(▶P.34)

memo

◎microSDメモリカードには、表裏/前後の区別があります。無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。

microSDメモリカードを取り外す

1 本製品の電源を切り、電池パックを取り外す

2 microSDメモリカードをカチッと音がするまで奥へゆっくり押し込む

カチッと音がしたら、microSDメモリカードに指を添えながら手前に戻してください。microSDメモリカードが少し出てきますのでそのまま指を添えておいてください。強く押し込んだ状態で指を離すと、勢いよく飛び出す可能性がありますのでご注意ください。

3 microSDメモリカードをゆっくり引き抜く

まっすぐにゆっくりと引き抜いてください。
microSDメモリカードによっては、ロック解除できず出てこない場合があります。その場合は指で軽く引き出して取り外してください。

4 電池パック・背面カバーを取り付ける(▶P.34)

◎ microSDメモリカードの端子部には触れないでください。
◎ microSDメモリカードを無理に引き抜かないでください。故障・データ消失の原因となります。
◎ 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
◎ データが壊れる(消去される)ことがありますので、microSDメモリカードにデータを保存中はマウント解除操作を行わないでください。

充電する

お買い上げ時には、電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。赤色に点灯していた充電ランプが消灯したら充電完了です。

memo

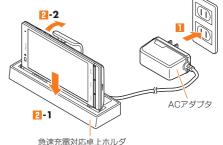
◎ 充電中、本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
◎ カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間は長くなる場合があります。
◎ 電池パックは、「安全上のご注意(必ずお守りください)」(▶P.5)をよくお読みになってお取り扱いください。
◎ 指定の充電用機器を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電/放電を繰り返す場合があり、電池のもちが悪くなります。
◎ 周囲温度や本製品の温度が、極端に高温や低温になっている場合には、充電が停止することがあります。できるだけ常温の環境で充電してください。
◎ 本製品の充電ランプが赤色に点滅したときは、電池パックの取り付け、接続などが正しいかご確認ください。それでも点滅する場合は、充電を中止して、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。
◎ 充電端子は、ときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると正常に充電されない場合があります。
◎ 水分やほこりなどが入らないように、外部接続端子カバーは、充電後しっかりと閉めてください。また、強く引っ張ったり、ねじったりしないでください。
◎ 充電中、充電ランプがまだ点灯しているときに充電をやめると、「▮」(十分)が表示されていても充電が十分にできていない場合があります。その場合は、ご利用可能時間が短くなります。
◎ 急速充電対応卓上ホルダ(ACアダプター体型)(KYY22PUA)を使用して充電するときは、本製品の外部接続端子を使っての充電は行わないでください。充電が正しく行われないだけでなく、故障の原因となる場合があります。
◎ 接続端子に金属製のアクセサリーや導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、内部に入ったりしないようにしてください。

急速充電対応卓上ホルダ（ACアダプター体型）（KYY22PUA）を使って充電する

付属の急速充電対応卓上ホルダ（ACアダプター体型）（KYY22PUA）を使用すると、従来よりも短い時間で急速に充電することができます。

1 急速充電対応卓上ホルダ（ACアダプター体型）（KYY22PUA）のACアダプタ部の電源プラグをコンセント（AC100V～240V）に差し込む

2 2-1、2-2の順に本製品を急速充電対応卓上ホルダ（ACアダプター体型）（KYY22PUA）に差し込む

本製品の充電ランプが赤色に点灯したことを確認してください。
充電が完了すると、充電ランプが消灯します。

3 充電が終わったら、本製品を手前に起こすようにして急速充電対応卓上ホルダ（ACアダプター体型）（KYY22PUA）から取り外す

4 急速充電対応卓上ホルダ（ACアダプター体型）（KYY22PUA）のACアダプタ部の電源プラグをコンセントから抜く

指定のACアダプタ(別売)/DCアダプタ(別売)を使って充電する

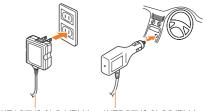
共通ACアダプタ04(別売)/共通DCアダプタ03(別売)を接続して充電する方法を説明します。指定のACアダプタ(別売)/DCアダプタ(別売)については、「周辺機器のご紹介」(▶P.50)をご参照ください。

1 本製品の外部接続端子カバーを開ける

2 共通ACアダプタ04(別売)/共通DCアダプタ03(別売)のmicroUSBプラグの向きを確認し、外部接続端子にまっすぐに差し込む

3 共通ACアダプタ04(別売)の電源プラグをコンセント(AC100V~240V)に差し込む/共通DCアダプタ03(別売)のプラグをシガーライタソケットに差し込む

本製品の充電ランプが赤色に点灯したことを確認してください。本製品の電源が入っている場合は、ステータスバーに「 」が表示されます。

充電が完了すると、充電ランプが消灯します。

4 充電が終わったら、外部接続端子から共通ACアダプタ04(別売)/共通DCアダプタ03(別売)のmicroUSBプラグをまっすぐに引き抜く

5 外部接続端子カバーを閉じる

6 共通ACアダプタ04(別売)の電源プラグをコンセントから抜く/共通DCアダプタ03(別売)のプラグをシガーライタソケットから抜く

memo

◎外部接続端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると、破損の原因となりますのでご注意ください。
◎電池が切れた状態で充電すると、充電ランプがすぐに点灯しないことがありますが、充電は開始しています。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 着信ランプが点灯するまで（⏻）を長く押す

ロック画面が表示されたときは、ロックを解除してください（▶P.42）。

- 初めて電源を入れたときは、「auかんたん設定」などの初期設定が起動します。必要に応じて設定を行ってください。

■画面ロックを解除する

ロック画面が表示されたときは、次の操作でロックを解除できます。

1 [🔓]

ホームスクリーンが表示されます（▶P.44）。
「🎤」／「📷」をタップした場合は、すぐごえ／カメラが起動します。

《ロック画面》

ご利用の準備

memo

◎電源を入れてから各種ロゴが表示されている間は、タッチパネルの初期設定を行っているため、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。
◎お買い上げ時に「auかんたん設定」の操作をスキップしても、後から設定することができます。
◎電源を入れたときに充電ランプが黄色で点滅している場合は、起動するのに電池残量が十分でないことを示しています。充電してお使いください。
◎不在着信や新着メールなどがあるときは、ロック画面にアプリケーションのアイコンが表示されます。タップするとロックが解除され、対応するアプリケーションが起動します。
◎スクリーンセーバーをオンに設定している場合は、ロック画面でBACKを押すと「時計（デジタル）」のスクリーンセーバーが起動します。

電源を切る

1 **⏻（1秒以上長押し）**

2 **[電源を切る]→[OK]**

基本操作

ホームスクリーンを利用する

ホームスクリーンにはショートカットやウィジェット、フォルダを追加することができます。HOMEを押すと、いつでもホームスクリーンを表示することができます。
お買い上げ時のホームスクリーンには、「Advanced Home」のホームアプリケーションが設定されています。

① **ステータスバー**
② **ショートカット/ウィジェット/フォルダ**
③ **クイック起動エリア**

《ホームスクリーン》

ホームスクリーンを切り替える

ホームスクリーンは複数の画面で構成されており、左右にスライド/フリックすると切り替えることができます。

- 初回切り替え時には、説明画面が表示されます。
- ホームスクリーンでHOME→切り替えたいサムネイルをタップ、と操作しても、ホームスクリーンを切り替えることができます。

memo

◎お買い上げ時には左右に2枚ずつ、合計5枚のホームスクリーンがあらかじめ設定されています。

ホームアプリケーションを切り替える

本製品のホームアプリケーションを切り替えることができます。お買い上げ時に設定されている「Advanced Home」のほか、「エントリーホーム」と「かんたんメニュー」があらかじめインストールされています。
ホームアプリケーションは、「（ホーム切替）」アプリケーションから簡単に切り替えることができます。

《エントリーホームの待受画面》

《かんたんメニュー画面》

基本操作

エントリーホームを利用する

従来の携帯電話に似た画面表示で、初めてスマートフォンをお使いになる方にも安心して使っていただけるホームアプリケーションです。

1 ホームスクリーン→[(エントリーホーム)]→説明画面を確認→[OK]

エントリーホームの待受画面が表示されます。

◎エントリーホームから「Advanced Home」のホームスクリーンに戻すには、エントリーホームの待受画面→[(メニュー)]→[設定]→[通常ホーム切替]→[OK]と操作します。

かんたんメニューを利用する

初心者やご年配の方にも使いやすいホームアプリケーションです。カテゴリアイコンをタップすると、各カテゴリごとのメニューが表示され、アプリケーションを起動できます。

1 ホームスクリーン→[(オススメ)]→[(ホーム切替)]→「かんたんメニュー」を選択→[OK]

かんたんメニュー画面が表示されます。

◎かんたんメニューから「Advanced Home」のホームスクリーンに戻すには、かんたんメニュー画面→[便利な機能]→[アプリを使う]→[ホーム切替]→「Advanced Home」を選択→[OK]と操作します。

シンプルメニューを利用する

お買い上げ時は、基本的な機能を配置した「シンプルメニュー」を表示することができます。アイコンをタップすると、アプリケーションを起動できます。

1 ホームスクリーン→[(シンプル)]

シンプルメニューが表示されます。

アプリ一覧を利用する

インストールされているアプリケーションの一覧が表示されます。

1 シンプルメニュー→[アプリ一覧]

アプリ一覧が表示されます。

本製品の状態を知る

アイコンの見かた

ステータスバーの左側には不在着信、新着メールや実行中の動作などをお知らせする通知アイコン、右側には本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。

■主な通知アイコンの例

アイコン	概要
	不在着信あり
	新着メールあり（SMS）
	新着メールあり（Eメール）
	新着メールあり（PCメール）
	新着メールあり（Gmail）
	省電力ナビ動作中

■主なステータスアイコンの例

アイコン	概要
	電池レベル状態 100%／残量なし／充電中
	電波の強さ・通信状態（LTE／3G） レベル4／圏外／通信中 LTE使用可能／3G使用可能／ ローミング中
	機内モード設定中
	au Nano IC Card (LTE)未挿入
	Wi-Fi®の電波の強さ レベル4／レベル0
	アラーム設定あり
	マナーモード（バイブレーション）設定中
	マナーモード（ミュート）設定中

通知パネルについて

ステータスバーを下にスライドすると、通知パネルが表示されます。

通知パネルでは、お知らせの確認や対応するアプリケーションの起動ができます。また、よく使う機能を設定したり、ショートカットを追加してアプリケーションを起動できます。

◎ 画面上部の日時や電池アイコンなどが表示されている部分をタップしても、通知パネルを非表示にすることができます。

メニューを表示する

画面のメニューを表示する方法には、MENUを押して表示する方法と、入力欄や項目をロングタッチして表示する方法の2種類があります。

au災害対策アプリ

au災害対策アプリは、災害用伝言板や、緊急速報メール（緊急地震速報、災害･避難情報、津波警報）、災害用音声お届けサービスを利用することができるアプリです。

1 ホームスクリーン→[(au災害対策)]
au災害対策メニュー画面が表示されます。

災害用伝言板を利用する

災害用伝言板とは、震度6弱程度以上の地震などの大規模災害発生時に、被災地域のお客様がLTE NET上から自己の安否情報を登録することが可能となるサービスです。登録された安否情報はau電話をお使いの方のほか、他社携帯電話やパソコンなどからも確認していただくことが可能です。
詳しくは、auホームページの「災害用伝言板サービス」をご参照ください。

1 au災害対策メニュー画面→[災害用伝言板]
画面の指示に従って、登録／確認を行ってください。

memo

◎ 安否情報の登録を行うには、Eメールアドレス（~ezweb.ne.jp）が必要です。あらかじめ、メールアドレスを設定しておいてください。
◎ 無線LAN（Wi-Fi®）接続中は、削除および安否お知らせメールの設定変更はご利用いただけません。
◎ 当社は、本サービスの品質を保証するものではありません。本サービスへのアクセスの集中や設備障害に伴う安否情報の登録にかかわる不具合、安否情報の破損、滅失などによる損害または登録された安否情報に起因する損害につきましては原因の如何によらず、一切の責任を負いかねます点、ご了承のうえご利用ください。

緊急速報メールを利用する

緊急速報メールとは、気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、国や地方公共団体が配信する災害･避難情報を、特定エリアのau電話に一斉にお知らせするサービスです。
お買い上げ時は、緊急速報メール（緊急地震速報および災害･避難情報）の「受信設定」は「受信する」に設定されています。
津波警報の受信設定は、災害･避難情報の設定にてご利用いただけます。
緊急地震速報を受信した場合は、周囲の状況に応じて身の安全を確保し、状況に応じた、落ち着きのある行動をお願いいたします。津波警報を受信したときは、直ちに海岸から離れ、高台や頑丈な高いビルなど安全な場所に避難してください。

1 au災害対策メニュー画面→[緊急速報メール]

受信ボックスが表示されます。
確認したいメールを選択すると、メールの詳細を確認できます。

memo

◎日本国内のみのサービスです(海外ではご利用になれません)。
◎緊急速報メールは、情報料・通信料とも無料です。
◎電源を切っているときや通話中は、緊急速報メールを受信できません。
◎SMS/Eメール送受信時やブラウザ利用時などの通信中であったり、サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル、地下など)や電波状態の悪い場所では、緊急速報メールを受信できない場合があります。
◎受信に失敗した緊急速報メールを、再度受信することはできません。
◎緊急速報メール受信時は、専用の警報音とバイブレータの振動で通知します。警報音は変更できません。
※緊急地震速報の場合は、警報音と音声(「地震です」)、バイブレータの振動で通知します。
◎お客様の現在地とは、異なる地域に関する情報を受信する場合があります。
◎当社は、本サービスに関して、通信障害やシステム障害による情報の不達・遅延、および情報の内容、その他当社の責に帰すべからざる事由に起因して発生したお客様の損害について責任を負いません。
◎気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報の詳細については、気象庁ホームページをご参照ください。
http://www.jma.go.jp/

緊急地震速報について

◎緊急地震速報とは、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ(震度4以上)が予測される地域をお知らせするものです。
◎地震の発生直後に、震源近くで地震(P波、初期微動)をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算し、地震による強い揺れ(S波、主要動)が始まる数秒~数十秒前に、可能な限りすばやくお知らせします。
◎震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。
◎テレビやラジオ、その他伝達手段により提供される緊急地震速報とは、配信するシステムが異なるため、緊急地震速報の到達時刻に差異が生じる場合があります。

津波警報について

◎津波警報とは、気象庁から配信される大津波警報・津波警報を、対象沿岸を含む地域へお知らせするものです。

災害・避難情報について

◎災害・避難情報とは、国や自治体から配信される避難勧告や避難指示、各種警報などの住民の安全にかかわる情報を、お知らせするものです。

災害用音声お届けサービスを利用する

災害用音声お届けサービスとは、大規模災害時にスマートフォンで音声を録音し、安否を届けたい方へ音声メッセージとしてお届けするサービスです。

1 **au災害対策メニュー画面→[災害用音声お届けサービス]**

画面の指示に従って、登録を行ってください。

■ 音声を送る(送信)

「声をお届け」を選択し、「①お届け先を選択※」→「②お届けしたい声を録音」の順で操作してください。

※ お届け先は、電話帳からも選択可能です。

■ 音声を受け取る(受信)

音声メッセージが届いたことが、ポップアップ画面、もしくは、SMSで通知されます。音声メッセージを受信(ダウンロード)し、再生することで、聞くことができます。

- 受け取る相手が災害用音声お届けサービスに対応した「au災害対策アプリ」を立ち上げていないスマートフォンや、au携帯電話の場合、SMSでお知らせします。
- SMSで通知された場合、au災害対策アプリに情報は保存されません。

◎ Wi-Fi®でのご利用には、LTE/3Gネットワークにて初期設定が必要になります。
◎ 音声メッセージは最大30秒の録音が可能です。
◎ au携帯電話間、および他社携帯電話・PHSと相互にやりとりが可能です。
◎ メディアの音量を小さくしている、もしくはマナーモードに設定している場合、音声を聞き取れない場合があります。
◎ 本体(メモリ)に空き容量がない場合は、音声メッセージが保存・再生できない場合があります。
◎ 音声メッセージの受信に対応していない端末があります。詳しくはauホームページをご覧ください。

災害情報/義援金サイトを利用する

自治体が配信した災害・避難情報の履歴や、災害情報ポータル、義援金サイトなどを確認できます。

1 **au災害対策メニュー画面→[災害情報/義援金サイト]**

2 **画面の指示に従って操作**

付録

周辺機器のご紹介

- ■ 電池パック（KYY21UAA）
- ■ 背面カバー（KYY22TSA、KYY22TGA、KYY22TPA）
- ■ 急速充電対応卓上ホルダ（ACアダプター体型）（KYY22PUA）
- ■ 共通ACアダプタ04（0401PWA）（別売）
- ■ 共通ACアダプタ03（0301PQA）（別売）
- ■ 共通ACアダプタ03 ネイビー（0301PBA）（別売）

共通ACアダプタ04

- ■ 共通ACアダプタ03 グリーン（0301PGA）（別売）
- ■ 共通ACアダプタ03 ピンク（0301PPA）（別売）
- ■ 共通ACアダプタ03 ブルー（0301PLA）（別売）
- ■ AC Adapter JUPITRIS（ホワイト）（L02P001W）（別売）
- ■ AC Adapter JUPITRIS（レッド）（L02P001R）（別売）
- ■ AC Adapter JUPITRIS（ブルー）（L02P001L）（別売）
- ■ AC Adapter JUPITRIS（ピンク）（L02P001P）（別売）
- ■ AC Adapter JUPITRIS（シャンパンゴールド）（L02P001N）（別売）
- ■ 共通DCアダプタ03（0301PEA）（別売）
- ■ auキャリングケースG ブラック（0106FCA）（別売）

- ■ auキャリングケースFブラック（0105FCA）（別売）
- ■ ポータブル充電器02（0301PFA）（別売）
- ■ ワイヤレス充電台01（0101PUA）（別売）
- ■ microUSBケーブル01（0301HVA）（別売）
- ■ microUSBケーブル01 ネイビー（0301HBA）（別売）
- ■ microUSBケーブル01 グリーン（0301HGA）（別売）
- ■ microUSBケーブル01 ピンク（0301HPA）（別売）
- ■ microUSBケーブル01 ブルー（0301HLA）（別売）

■ **無接点充電用電池パック（KYY21UBA）（別売）**

無接点充電用電池パックをご利用になる場合、右図本体背面を下にして、点線部分がワイヤレス充電台01（別売）の中央になるように載せて充電を行ってください。なお、本製品URBANO L02におきましては、背面カバーはそのままご使用いただけます。

URBANO L02本体

※お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。

付録

memo

◎最新の対応周辺機器につきましては、auホームページ（http://www.au.kddi.com/）にてご確認いただくか、お客さまセンターにお問い合わせください。
◎上記の周辺機器は、auオンラインショップからご購入いただけます。
http://auonlineshop.kddi.com/

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認ください。

こんなときは	ご確認ください	参照
電源が入らない	電池パックは充電されていますか？	P.39
	電池パックは正しく取り付けられていますか？	P.34
	電池パックの端子が汚れていませんか？	P.39
	を長押ししていますか？	P.42
	充電ランプが黄色で点滅していませんか？	P.43
電源が勝手に切れる	電池パックは十分に充電されていますか？	P.39
電源起動時のロゴ表示中に電源が切れる	電池パックは十分に充電されていますか？	P.39
電話がかけられない	電源は入っていますか？	P.42
	au Nano IC Card (LTE)が挿入されていますか？	P.36
電話がかかってこない	電波は十分に届いていますか？	P.46
	サービスエリア外にいませんか？	P.46
	電源は入っていますか？	P.42
	au Nano IC Card (LTE)が挿入されていますか？	P.36
「」(圏外)が表示される	サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？	P.46
	内蔵アンテナ付近を指などで覆っていませんか？	P.33
充電ができない	充電用機器は正しく接続されていますか？	P.41
	電池パックは正しく取り付けられていますか？	P.34
	本体または電池温度が高温または低温になっていませんか？ 温度によって充電を停止する場合があります。	P.39
	指定の周辺機器(アダプタなど)で充電をしていますか？	P.41
キー／タッチパネルの操作ができない	電源は入っていますか？	P.42
	電源を切り、もう一度電源を入れ直してください。	P.42
「」が表示される	au Nano IC Card (LTE)が挿入されていますか？	P.36
充電してくださいなどと表示された	電池残量がほとんどありません。	P.39

こんなときは	ご確認ください	参照
電池パックを利用できる時間が短い	十分に充電されていますか？ • 赤色の充電ランプが消灯するまで、充電してください。	P.39
	電池パックが寿命となっていませんか？	P.18
	「」(圏外)が表示される場所での使用が多くありませんか？	P.46
	使用していないアプリケーションや機能を終了･停止してください。	－
電話をかけたときに受話部(レシーバー)から「プーッ、プーッ、プーッ…」と音がしてつながらない	サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？	P.46
	無線回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直しください。	－
画面照明が暗い	本体または電池温度が高温になっていませんか？ 温度によって画面の輝度を落とす場合があります。	－
相手の方の声が聞こえない／聞き取りにくい	受話部(レシーバー)が耳に当たるようにしてください。	P.32 P.33
画面が動かなくなり、どのキーをタップしても操作できない	電源を切り、もう一度電源を入れ直してください。	P.42
電話帳の個別の設定が動作しない	相手の方から電話番号の通知はありますか？ 通知がない場合は、電話帳の着信設定は有効になりません。また、電話帳のグループ着信設定は有効になりません。	－

上記の各項目を確認しても症状が改善されないときは、以下のauのホームページ、auお客さまサポートでご案内しております。

http://www.au.kddi.com/support/mobile/trouble/repair

ソフトウェアやOSを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスを実現し、最新の拡張機能を入手できます。

ソフトウェアのアップデートの種別により、更新の方法が異なります。

■ ご利用上の注意

- パケット通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。
- 更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- 詳しくは、京セラホームページのサポート情報をご覧いただくか、本体内で利用できる『取扱説明書』アプリケーションやauのホームページより『取扱説明書詳細版』をご参照ください。

付録

- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新ができません。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新中は操作できません。110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ローミング中は、ご利用になれません。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit(一部ショップを除く)にお持ちください。

ソフトウェアやOSをダウンロードして更新する

インターネット経由で、本製品から直接更新ソフトウェアをダウンロードできます。
「メジャーアップデート開始」では、本製品のOSをダウンロードできます。

1 シンプルメニュー/アプリ一覧→[設定]→[すべてを表示]→[端末情報]→[ソフトウェアアップデート]

2 [ソフトウェア更新開始]/[メジャーアップデート開始]

以降は、画面の指示に従って操作してください。

アフターサービスについて

■修理を依頼されるときは

修理については安心ケータイサポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

memo

◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
◎ 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのau電話は、再生修理した上で交換用携帯電話機として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。

■補修用性能部品について

当社は本製品本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認の上、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■安心ケータイサポートプラスLTEについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポートプラスLTE」をご用意しています(月額380円、税抜)。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細については、auホームページをご確認いただくか、安心ケータイサポートセンターへお問い合わせください。

memo

◎ ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。
◎ ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。
◎ 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
◎ au電話を譲渡・承継された場合、「安心ケータイサポートプラスLTE」の加入状態は譲受者に引き継がれます。
◎ 機種変更時・端末増設時などにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「安心ケータイサポートプラス」「安心ケータイサポートプラスLTE」は自動的に退会となります。
◎ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■au Nano IC Card (LTE)について

au Nano IC Card (LTE)は、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

■アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記の窓口へお問い合わせください。

付録

お客さまセンター（紛失・盗難時の回線停止のお手続き、操作方法について）

一般電話からは　0077-7-113（通話料無料）
au電話からは　局番なしの113（通話料無料）

安心ケータイサポートセンター（紛失・盗難・故障について）

一般電話／au電話からは　0120-925-919
（通話料無料）
受付時間9:00〜21:00（年中無休）

■ auアフターサービスの内容について

<table>
<tr><th colspan="3" rowspan="2">サービス内容</th><th colspan="2">安心ケータイ
サポートプラスLTE</th></tr>
<tr><th>会員</th><th>非会員</th></tr>
<tr><td rowspan="3">交換用携帯電話機お届けサービス</td><td rowspan="2">自然故障</td><td>1年目</td><td>無料</td><td rowspan="3">補償なし</td></tr>
<tr><td>2年目以降</td><td rowspan="2">お客様負担額
1回目：5,000円
2回目：8,000円</td></tr>
<tr><td colspan="2">部分破損、水濡れ、全損、盗難、紛失</td></tr>
<tr><td rowspan="5">預かり修理</td><td rowspan="2">自然故障</td><td>1年目</td><td>無料</td><td>無料</td></tr>
<tr><td>2年目以降</td><td>無料（3年保証）</td><td rowspan="3">実費負担</td></tr>
<tr><td colspan="2">部分破損</td><td>お客様負担額
上限5,000円</td></tr>
<tr><td colspan="2">水濡れ・全損</td><td>10,000円</td></tr>
<tr><td colspan="2">盗難・紛失</td><td>補償なし</td><td>補償なし（機種変更対応）</td></tr>
</table>

※金額はすべて税抜

交換用携帯電話機お届けサービス

◎ au電話がトラブルにあわれた際、お電話いただくことでご指定の送付先に交換用携帯電話機（同一機種・同一色、新品電池含む）をお届けします。故障した今までお使いのau電話は、交換用携帯電話機がお手元に届いてから14日以内にご返却ください。

◎ 本サービスをご利用された日を起算日として、1年間に2回までご利用可能です。本サービス申し込み時において過去1年以内に本サービスのご利用がない場合は1回目、ご利用がある場合は2回目となります。

※詳細はauホームページでご確認ください。

預かり修理

◎ お客様の故意・改造（分解改造・部品の交換・塗装など）による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

◎ 外装ケースの汚れや傷、塗装の剥れなどによるケース交換は割引の対象となりません。

主な仕様

項目		
ディスプレイ	約4.7インチ、約1,677万色、TFT全透過型	
	720×1,280ドット(HD)	
質量	約142g(電池パック含む)	
充電時間(目安)	急速充電対応卓上ホルダ(KYY22PUA)	約140分
	共通ACアダプタ04(別売)	約170分
	ワイヤレス充電台01(別売)※1	約240分
	共通DCアダプタ03(別売)	約390分
連続通話時間	国内	約1,210分
	海外(GSM)	約830分
	海外(CDMA)	約1,380分
連続待受時間	国内	約510時間(LTEエリア)
		約620時間(3Gエリア)
	海外(GSM)	約590時間
	海外(CDMA)	約550時間
連続テザリング時間	約450分(WAN側LTE) 約620分(WAN側3G)	
Wi-Fiテザリング最大接続数	10台	
サイズ(幅×高さ×厚さ)	約65×134×11mm(最厚部約11.3mm)	

項目		
内蔵メモリ容量※2		ROM:約16GB RAM:約2GB
アウトカメラ有効画素数		約1,300万画素
インカメラ有効画素数		約97万画素
無線LAN(Wi-Fi®)機能		IEEE802.11a/b/g/n準拠
Bluetooth®機能	対応バージョン	Bluetooth®標準規格Ver.4.0準拠※3
	出力	Bluetooth®標準規格Class 1
	通信距離※4	見通しの良い状態で10m以内
	対応プロファイル※5	SPP(Serial Port Profile) A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile) HSP(Headset Profile) HFP(Hands-Free Profile) OPP(Object Push Profile) PBAP(Phone Book Access Profile) HID(Human Interface Device Profile) PXP(Proximity Profile) DUN(Dial-Up Networking Profile)※6
	使用周波数帯	2.4GHz帯
連続ワンセグ視聴時間	約9時間10分	

※1 無接点充電用電池パック(KYY21UBA)(別売)を取り付けたときの充電時間となります。
※2 データとアプリケーションで保存領域を共有しているため、本体内の保存可能容量はアプリケーションの使用容量により減少します。
※3 本製品およびすべてのBluetooth®機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth®標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
※4 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
※5 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。
※6 一部のカーナビゲーションシステムのみに対応しています。
ご利用にあたっては、auホームページをご参照ください。

◎ 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種URBANOの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。

この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR:Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.630W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。KDDI推奨のauキャリングケースFブラック(0105FCA)(別売)／auキャリングケースGブラック(0106FCA)(別売)を用いて携帯電話機

を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します（※2）。KDDI推奨のauキャリングケースFブラック（0105FCA）（別売）／auキャリングケースGブラック（0106FCA）（別売）をご使用にならない場合には、身体から1.5cm以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください（http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm）。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、以降に記載の各ホームページをご参照ください。

○ 総務省のホームページ：
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
○ 一般社団法人電波産業会のホームページ：
http://www.arib-emf.org/index02.html
○ auのホームページ：
http://www.au.kddi.com/

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、2010年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されましたが、国の技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）の一部を改正する省令が2013年8月に公布され、2014年4月1日に施行される予定です。

知的財産権について

■商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

付録

Google、Google ロゴ、Android、Android ロゴ、Google Play、Google Play ロゴ、Playミュージック、Playミュージック ロゴ、Playムービー、Playムービー ロゴ、Gmail、Gmail ロゴ、Google マップ、Google マップ ロゴ、ハングアウト、ハングアウト ロゴ、Googleマップ ナビ、Googleマップ ナビ ロゴ、Google+ローカル、Google+ローカル ロゴ、Google Chrome、Google Chrome ロゴ、Google 音声検索、Google 音声検索 ロゴ、YouTube および YouTube ロゴは、Google Inc. の商標または登録商標です。

Microsoft®、Windows®およびWindows®XP/Windows Vista®/Windows®7/Windows®8は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Microsoft® Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。

Microsoft®、Microsoft® Excel®、Microsoft® PowerPoint®、Windows Media®、Exchange®は、米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの登録商標または商標です。
Microsoft® Word、Microsoft® Officeは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび/またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。

microSD、microSDHC、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、京セラ株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。

Wi-Fi®、WPA®、Wi-Fi CERTIFIED ロゴ、Wi-Fi Protected Setup ロゴはWi-Fi Allianceの登録商標です。
Wi-Fi CERTIFIED™、Wi-Fi Protected SetupはWi-Fi Allianceの商標です。

FeliCaはソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。
は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。

「jibe」はJibe Mobile株式会社の商標です。

FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。

Twitter、TwitterロゴはTwitter, Inc.の商標または登録商標です。

「GREE」は、日本で登録されたグリー株式会社の登録商標または商標です。

TRENDMICRO、およびウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。

本製品は株式会社セックのワンセグトータルソリューション「airCube for Android」を搭載しています。「airCube」は株式会社セックの登録商標です。

文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnIMEを使用しています。

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NONCOMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM.

(1) ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本国、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。
(2) 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

「インテリジェントWi-Fi」「エフェクトプラス」「エントリーホーム」「省電力ナビ」「すぐごえ」「すぐ文字」「スマートソニックレシーバー」「デイリーステップ」「撮りログ」「ファイルギャラリー」は京セラ株式会社の登録商標です。

枠なし手書き文字認識は、株式会社東芝のLaLaStrokeを使用しています。
LaLaStrokeは株式会社東芝の商標です。

書体切り替えには、株式会社リムコーポレーションの「もじチェン」を使用しています。「もじチェン」は株式会社リムコーポレーションの登録商標です。
本製品には、株式会社リムコーポレーションの書体を搭載しています。
本製品には、株式会社モリサワの書体を搭載しています。

MHLのロゴ、MHLおよびMobile High-Definition LinkはMHL, LLCの商標です。

デジオン、DigiOn、DiXiMは、株式会社デジオンの登録商標です。

DLNA®、DLNAロゴおよびDLNA CERTIFIED®は、Digital Living Network Allianceの商標です。
DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED® are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
本機のDLNA認証は京セラ株式会社が取得しました。

本製品には、絵文字画像として株式会社NTTドコモから利用許諾を受けた絵文字が含まれています。

本製品には赤外線通信機能としてイーグローバレッジ株式会社のDeepCore® 3.0Plus for Androidを搭載しています。Copyright© 2012 E-Globaledge Corp. All Rights Reserved.

静止画手ブレ補正機能には株式会社モルフォの「PhotoSolid」を採用しております。「PhotoSolid」は株式会社モルフォの登録商標です。
動画手ブレ補正機能には株式会社モルフォの「MovieSolid」を採用しております。「MovieSolid」は株式会社モルフォの登録商標です。

背景ぼかし画像生成技術には「Morpho Defocus」を採用しています。「Morpho Defocus」は株式会社モルフォの商標です。
ノイズ除去技術には「Morpho Denoiser」を採用しています。「Morpho Denoiser」は株式会社モルフォの商標です。
画像エフェクト技術には株式会社モルフォの「Morpho Effect Library」を採用しております。「Morpho Effect Library」 は株式会社モルフォの商標です。
HDR(High Dynamic Range)技術には「Morpho HDR」を採用しています。「Morpho HDR」は株式会社モルフォの商標です。

その他社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

このマニュアルで説明されている携帯電話にインストールされているソフトウェアについては、お客様に使用権が許諾されています。本ソフトウェアのご使用に際しては、以下の点に注意ください。

(a) ソフトウェアのソースコードの全部または一部について、複製、頒布、改変、解析、リバースエンジニアリングまたは導出をおこなってはなりません。
(b) 法律や規則に違反して、ソフトウェアの全部または一部を輸出してはなりません。
(c) ソフトウェアの商品性、特定目的への適合性、第三者知的財産権の不侵害などの黙示の保証を行うものではありません。

ただし、ソフトウェアに含まれている、GNU General Public License(GPL)、GNU Library/Lesser General Public License(LGPL)およびその他のオープンソースソフトウェアのライセンスに基づくソフトウェアならびに京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアのご使用に際しては、当該ソフトウェアのライセンス条件が優先して適用されます。
なお、オープンソースソフトウェアについては、以降に明示しております「オープンソースソフトウェアについて」をご確認ください。

■ オープンソースソフトウェアについて

本製品は、GNU General Public License (GPL)、GNU Library/Lesser General Public License (LGPL)またはその他のオープンソースソフトウェアライセンス及び／またはその他の著作権ライセンス、免責条項、ライセンス通知の適用を受ける第三者のソフトウェアを含みます。GPL、LGPL及びその他のライセンス、免責条項及びライセンス通知の具体的な条件については、本製品の「端末情報」から参照いただけます。詳細については当社ホームページをご覧ください。
本製品には、京セラ株式会社が著作権を有するソフトウェア及び京セラが許諾を受けたソフトウェアが含まれています。
本製品に含まれる、京セラ株式会社がオープンソースソフトウェアの規格やライセンスに準拠し設計、開発したソフトウェアの著作権は京セラ株式会社又は第三者が有しており、著作権法上認められた使用法及び当社が別途認めた使用法を除き、お客様は当社に無断で頒布、複製、改変、公衆送信等の使用を行うことはできません。

■ 輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。
また米国政府機関が定める米国輸出規制(Export Administration Regulations、およびその他の関連法令)、その他の国の法令等の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を直接的、または間接的とを問わず輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省、その他関係機関へお問い合わせください。

■Windowsの表記について

本書では各OS(日本語版)を以下のように略して表記しています。

- Windows 8は、Microsoft® Windows® 8、Microsoft® Windows® 8 Pro、Microsoft® Windows® 8 Enterpriseの略です。
- Windows 7は、Microsoft® Windows® 7(Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate)の略です。
- Windows Vistaは、Microsoft® Windows Vista®(Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate)の略です。
- Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

OpenSSL License

FCC Notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Note:
This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.
However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning
The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF EXPOSURE INFORMATION

Warning! Read this information before using your phone.

Warning! Read this information before using your phone. In August 1996, the Federal Communications Commission (FCC) of the United States, with its action in Report and Order FCC 96-326, adopted an updated safety standard for human exposure to radio frequency electromagnetic energy emitted by FCC regulated transmitters. Those guidelines are consistent with the safety standard previously set by both U.S. and international standards bodies. The design of this phone complies with the FCC guidelines and these international standards.

Body-worn Operation
This device was tested for typical body-worn operations with the back of the phone kept 0.39 inches (1.0 cm) from the body. To comply with FCC RF exposure requirements, a minimum separation distance of 0.39 inches (1.0 cm) must be maintained between the user's body and the back of the phone, including the antenna. All beltclips, holsters and similar accessories used by this device must not contain any metallic components. Body-worn accessories that do not meet these requirements may not comply with FCC RF exposure limits and should be avoided.

Turn off your phone before flying
You should turn off your phone when boarding any aircraft. To prevent possible interference with aircraft systems, U.S. Federal Aviation Administration (FAA) regulations require you to have permission from a crew member to use your phone while the plane is on the ground. To prevent any risk of interference, FCC regulations prohibit using your phone while the plane is in the air.

European RF Exposure Information

Your mobile device is both a radio transmitter and receiver, and is designed not to exceed limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were produced by independent scientific organization, ICNIRP, and include safety margins designed to protect all persons, regardless of age and condition of health.
The guidelines apply a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit for mobile devices is 2W/kg, and the highest SAR value for this device was 0.700 W/kg*.
As testing measures SAR at the highest transmitting power of a device, actual SAR tends to be lower during ordinary operation. Lower SAR levels are typical during ordinary operation as automatic changes are made within the device to ensure the network can be reached with minimal power.
The World Health Organization (WHO) has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions to be adopted when using mobile devices. WHO also notes that those wishing to reduce exposure may do so by limiting call length and by using a 'hands-free' device to distance the phone from the head and body. For further information, please see the WHO website: http://www.who.int/peh-emf/en/
* Note that tests are also carried out in accordance with international testing guidelines.

Declaration of Conformity

Product is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1 (a), 3.1 (b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://www.kyocera.co.jp/prdct/telecom/consumer/ (Japanese only).

-Note-
Below frequency bands are restricted for indoor use only.
5150 - 5250MHz(802.11a/n) in US
5150 - 5350MHz(802.11a/n) in EU

Safety Information

To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

大切な地球のために、一人ひとりができること。

それは、たとえばケータイや取扱説明書のリサイクルという、とても身近なことから始められます。

ケータイの本体や電池に含まれている希少金属や、取扱説明書などの紙類はリサイクルすることができます。
取扱説明書などの紙類は古紙原料として、製紙会社で再生紙となり、次の印刷物に生まれ変わります。また、このリサイクルによる資源の売却金は、国内の森林保全活動に役立てています。

ご不要になったケータイや取扱説明書は、お近くのauショップへ。
みなさまのご協力をお願いいたします。

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

http://www.au.kddi.com/mobile/recycle

お問い合わせ先番号

お客さまセンター

総合・料金について（通話料無料）

一般電話からは
0077-7-111

au電話からは
局番なしの157番

PRESSING ZERO WILL CONNECT YOU TO AN OPERATOR AFTER CALLING 157 ON YOUR au CELLPHONE.

紛失・盗難時の回線停止のお手続き、操作方法について（通話料無料）

一般電話からは
0077-7-113

au電話からは
局番なしの113番

上記の番号がご利用になれない場合、下記の番号にお電話ください。（無料）

0120-977-033（沖縄を除く地域）

0120-977-699（沖縄）

安心ケータイサポートセンター

紛失・盗難・故障について（通話料無料）

一般電話／au電話から
0120-925-919

受付時間　9:00～21:00（年中無休）

取扱説明書リサイクルにご協力ください。
KDDIではこのマークのあるauショップで回収した紙資源を、製紙会社と協力し、国内リサイクル活動を行っています。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

2014年1月第1版

発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）
製造元：**京セラ株式会社**
KTJ37GASXX-　0114YG